

ネジポンプ

model **AYN0010**



PAT.P

形式表示

AYN001 0 - 5 R

デザイン番号

アキュムレータ設定圧
2～7の整数
例) 7: 7MPa

アキュムレータと
エア抜き弁と
給油口の配置
R: 外形図通り
L: 外形図勝手反対

仕様

形式	AYN0010	
吐出油量※1	cm ³ /1回転	1.6
最大吐出油量※1	cm ³	28
有効回転域	回転	18
許容回転速度※2※3	rpm	300
許容入力トルク※2	N・m	8
最高使用圧力	MPa	7.0
耐圧※2	MPa	10.5
使用温度	℃	0 ～ 70
使用流体	ISO-VG-32 相当 一般作動油	
質量	kg	1.5

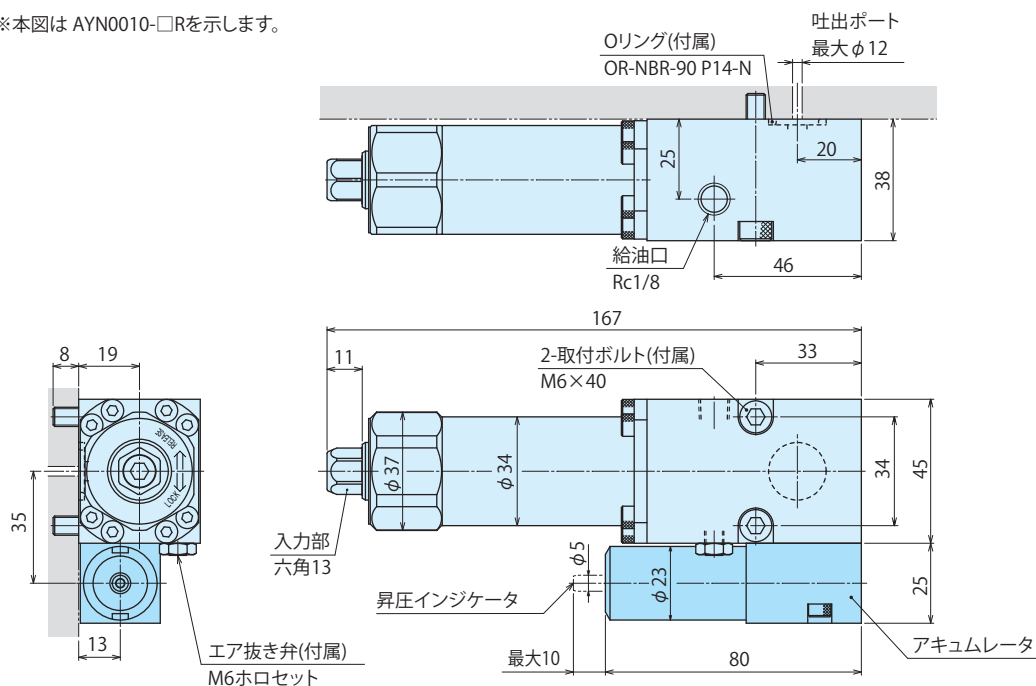
注意事項 ※1. 接続機器のシリンダ容量、配管容量、昇圧条件等を考慮し、吐出油量が不足しないようにしてください。

※2. 許容回転速度、許容入力トルク、耐圧を超えた場合は、内部部品が損傷し吐出機能が著しく低下します。

※3. ナットランナー等の回転工具をご使用の場合は、ロック端およびリリース端手前で減速させて、本品に衝撃が加わらないようにしてください。

外形図

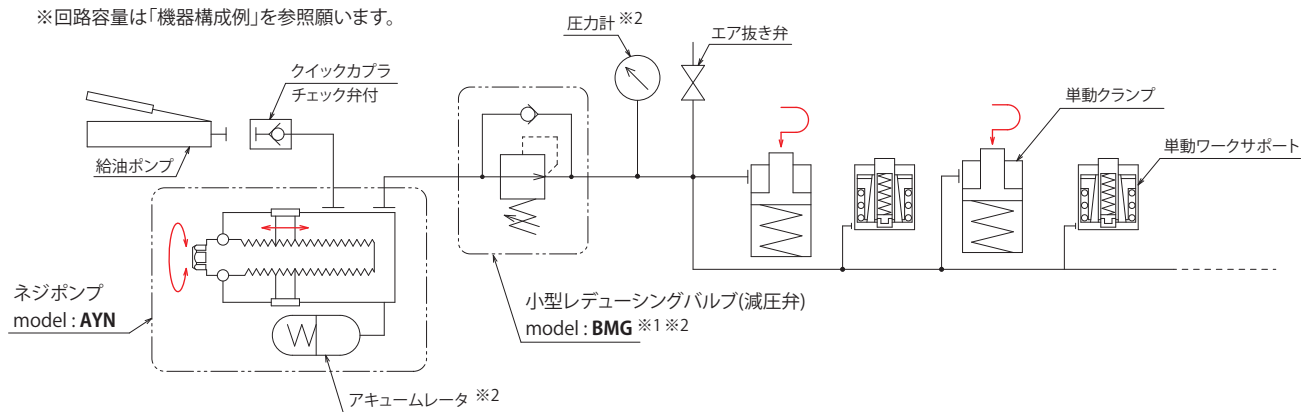
※本図は AYN0010-□R を示します。



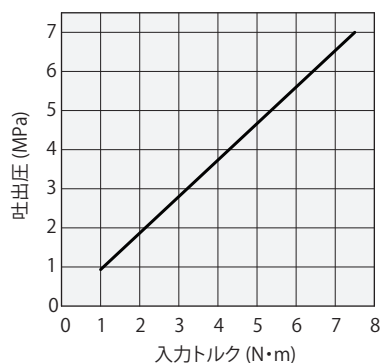
注意事項 1. リリース状態で納品いたします。

● 推奨回路図

※回路容量は「機器構成例」を参照願います。



● 吐出圧線図



注意事項

- ※1. 吐出圧線図は計算値を示します。内部ネジの摩擦変化等により吐出圧にバラツキが生じますので減圧弁を設置し、安定した圧力でご使用ください。
 - ※2. 減圧弁の設定圧とアキュムレータの設定圧は1MPa以上の差圧を設けてください。設定圧を誤ると長時間の圧力保持ができません。詳細につきましては、減圧弁(model: BMG)のカタログをご参照ください。
1. 入力トルクに対して吐出圧が低い場合は、給油・エア抜きを実施してください。

● 機器構成例

本表は、ネジポンプ1台に構成可能な単動クランプの例を示します。

クランプのシリンダ容量が合計 25cc 以下を目安として、自由に組合わせて構成できます。

構成クランプ例	形式	1台あたり 最大クランプ力(kN)	1台あたりの シリンダ容量(CC)	最大搭載可能 台数
スイングクランプ	LG0361	1.8 (レバー長:30mm)	4.9	4
	LG0401	2.4 (レバー長:40mm)	7.1	3
リンククランプ	LJ0302	1.6 (レバー長:20mm)	4.1	4
	LJ0362	2.6 (レバー長:22.5mm)	7.0	3
ホールクランプ	SFG2000	4.2	3.0	6
	SFG3000	7.7	5.4	4
ワークサポート	LD0223	2	0.4	9
	LD0263	3	0.6	6
	LD0303	4	0.9	4
パレットクランプ	VS0040	4	4.6	4
	VS0060	6	5.5	4